

2025年7月13日 聖霊降臨後第五主日礼拝説教
「ほめ歌を献げて神に応えよ」(ルカ17章11～19節)

○ルカ17章12節のみことば

「ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、」
十字架に至る道を歩んでいた救い主イエスが、立ち寄ったある村で、出迎えに来たのは、穢れた病をもち、人々からも見捨てられ、望みなき日々を過ごす〈十人の人〉だけだった。

問：なぜ、ほかの人々は、キリストを迎えなかったのか？

「(彼らは) 遠くの方に立ち止まったまま、声を張り上げて、『イエスさま、先生、どうかわたしたちを憐れんでください』と言った。」(12,13節)

彼らの癒されぬ病、どうしようもない辛さが、キリストへの叫びを生み出し、この祈りをとおして、神の救いが訪れる。

問：救いを求める〈あなたの叫び〉は、どこから来るのか？

今日のみことば：ルカ17章15節

「その中の一人は、自分が ^{なか}い^{ひとり}やされたのを知って、^し大声で ^{おおごえ}
^{かみ}神を^{さんび}賛美しながら ^{もど}戻^きって来た。」

村にいた人々の中で、みわざを見たのは、十人だけだったがそのうちの九人は、癒された後、〈わが道〉を歩いて行く。

問：なぜ、ひとりだけが、御許に戻って来たのか？

「そして、(彼は) イエスの足もとにひれ伏して感謝した。
この人はサマリア人だった。」(16節)

彼は血と病ゆえに、自らが〈救いに値しない者〉だと思っていたが、キリストは、この人さえも、御心に留められた。

問：憐れみを受けるに相応しいのは、だれなのか？

☆だれでも、神の求める聖さと義しさに達しないけれど、
キリストを拠り所とする者には、神の憐れみが施される。